

自治体のスマートフォンアプリ 活用実態_2025

自社調査：株式会社G－P l a c e

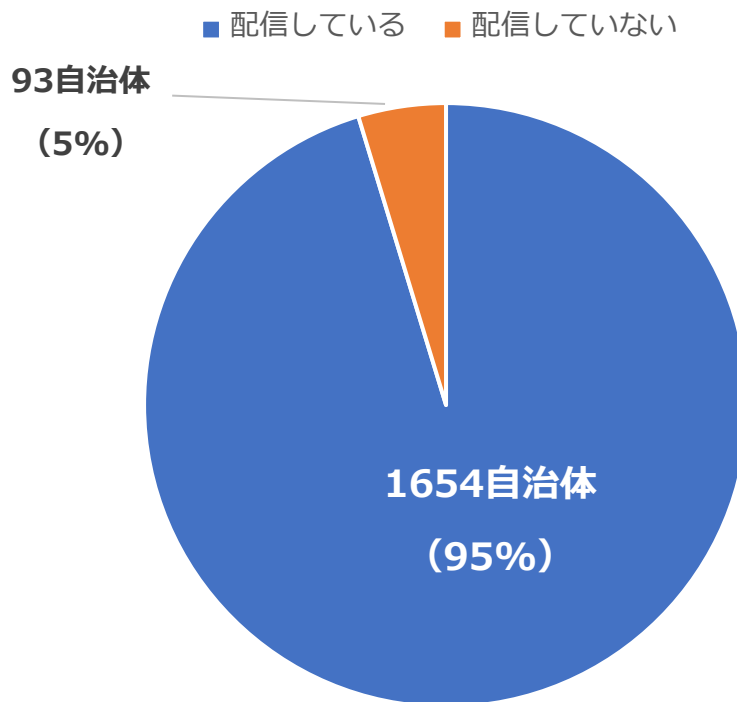
調査方法・注意事項

- ✓ 全国1,747の市区町村が公開しているホームページ内で、自治体公式として紹介されているスマートフォンアプリ（または準ずるサービス）を抽出し、アプリ配信数として集計しています。
※調査時期：2025年4月1日から7月15日
- ✓ 本資料では2024年末までの集計結果を掲載しています。
- ✓ 一つのアプリ内に複数市区町村の情報がある場合、それぞれの市区町村がアプリ内で情報を発信しているものとして集計しています。
- ✓ 本資料で市区町村が提供しているアプリを「自治体アプリ」と呼称しています。
- ✓ 本資料の掲載情報は株式会社G-Placeが独自に調査したものであり、正確性、妥当性、適時性もしくは完全性について保証をするものではありません。

自治体のアプリの配信割合

- ✓ 全国1,747の市区町村のうち約95%が何かしらの分野でアプリを配信しており、アプリを活用した情報発信やサービス提供が一般的になっていることがわかる。

自治体のアプリ配信割合

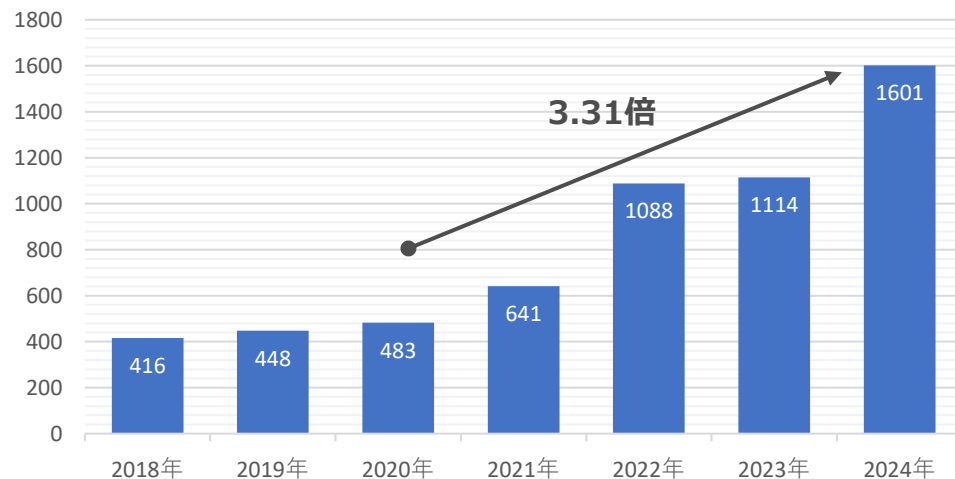


2024年末までの集計

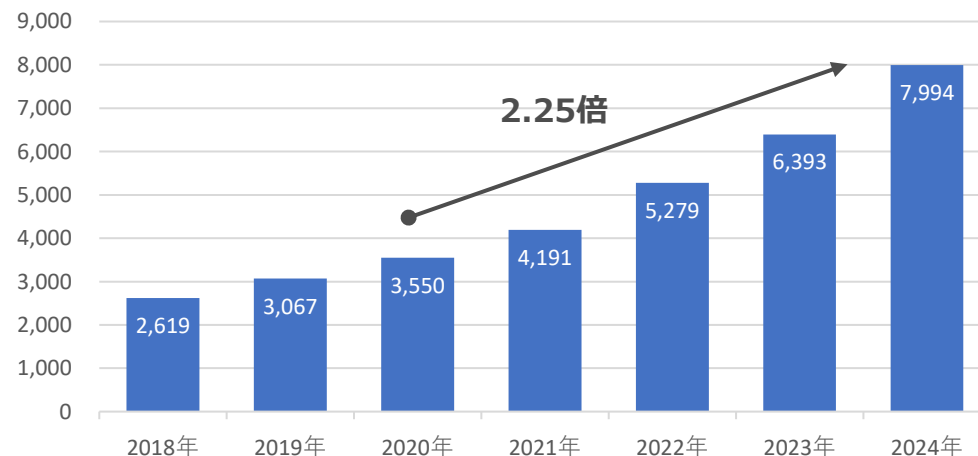
自治体のアプリ配信件数の推移

- ✓ 自治体アプリの新規配信件数は、2020年以降大きく増加しており、2020年から2024年の5年間で3.31倍に達した。
- ✓ 自治体アプリの累計配信件数は、2020年から2024年の5年間で2.25倍に達した。
- ✓ 配信件数の増加の背景には2020年に総務省が「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を示したことでDXの意識が高まったことが考えられる。

新規アプリ配信件数



累計アプリ配信件数

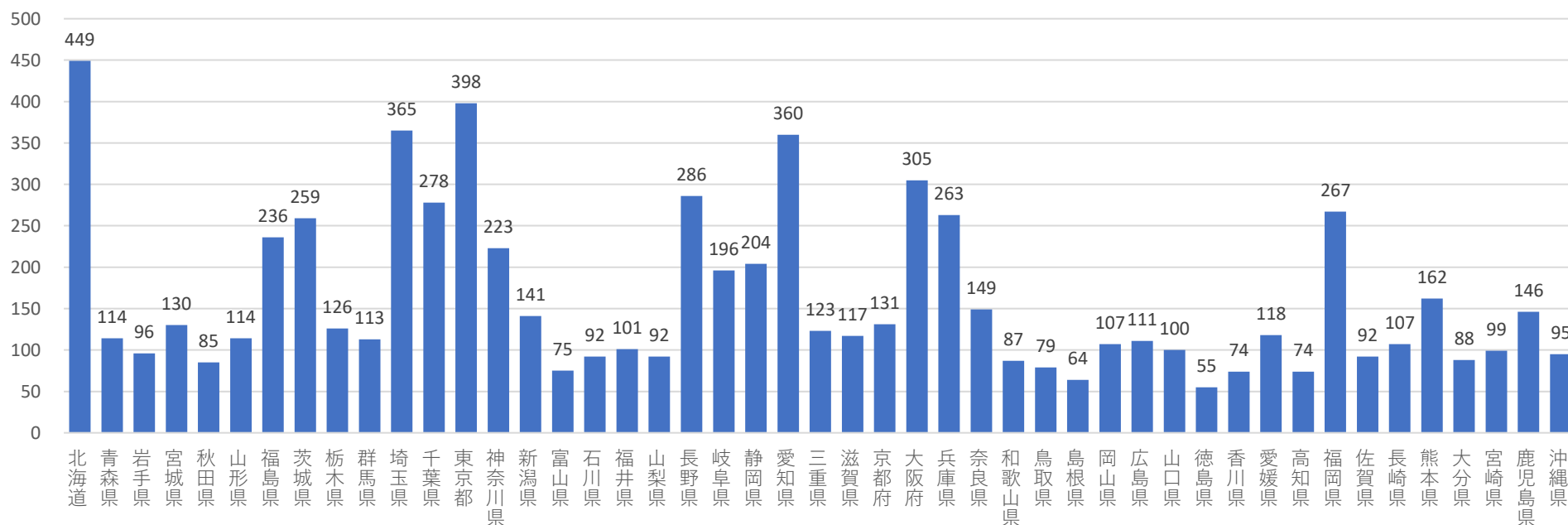


2024年末までの集計
リリース時期不明・配信停止のアプリを除く

都道府県別累計アプリ配信数

- ✓ 都道府県別の累計アプリ配信件数は、北海道（449件）、東京都（398件）、埼玉県（365件）、愛知県（360件）、大阪府（305件）の順が多い。

都道府県別累計アプリ配信件数



2024年末までの集計
リリース時期不明・配信停止のアプリを除く

過去5か年の都道府県別アプリ配信件数

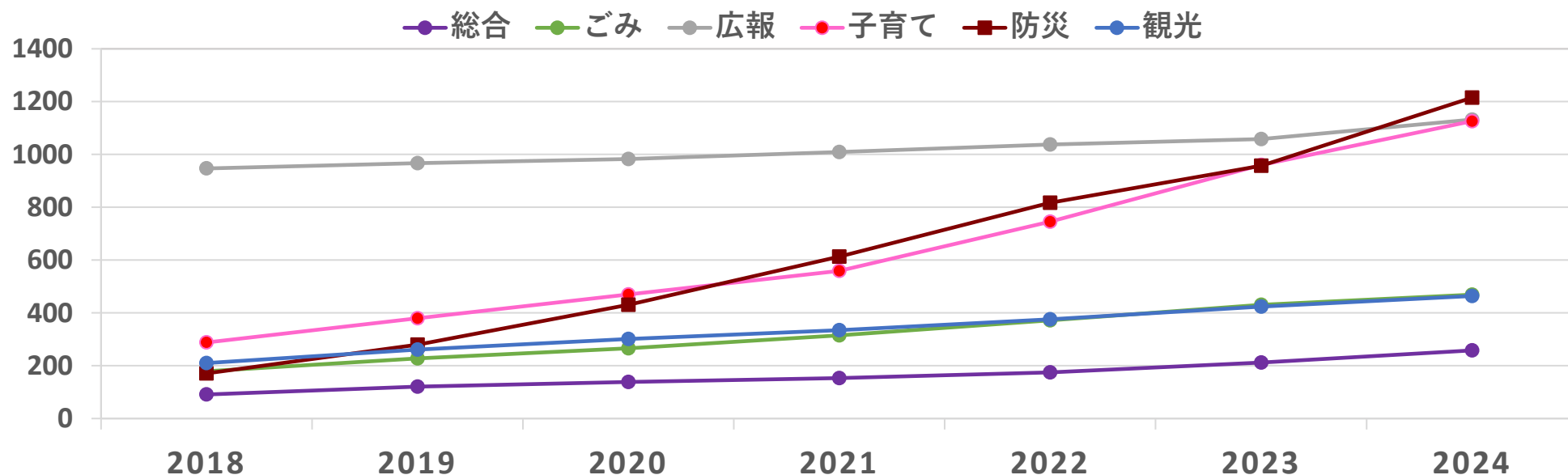
- ✓ 累計配信数を2020年と2024年で都道府県ごとに比較すると、山形県（3.56倍）、滋賀県（3.24倍）、福島県（3.06倍）、熊本県（2.97倍）、宮城県（2.77倍）の順に高い増加傾向を示している。また、47都道府県の91.5%にあたる43都道府県で、2倍以上増加している。

都道府県	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
2020年時点	177	43	38	47	35	32	77	95	63	44	142	126	160	97	52	31
2024年時点	449	114	96	130	85	114	236	259	126	113	365	278	398	223	141	75
2020年比	2.54	2.65	2.53	2.77	2.43	3.56	3.06	2.73	2.00	2.57	2.57	2.21	2.49	2.30	2.71	2.42
順位	20	11	21	5	27	1	3	6	43	18	17	35	22	31	9	29
都道府県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
2020年時点	35	38	35	115	80	83	146	38	57	76	112	116	73	42	35	33
2024年時点	92	101	92	286	196	204	360	123	117	131	305	263	149	87	79	64
2020年比	2.63	2.66	2.63	2.49	2.45	2.46	2.47	3.24	2.05	1.72	2.72	2.27	2.04	2.07	2.26	1.94
順位	13	10	13	23	26	25	24	2	41	47	8	33	42	39	34	44
都道府県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2020年時点	52	43	43	21	28	55	29	98	38	36	85	48	45	64	44	3,102
2024年時点	107	111	100	55	74	118	74	267	92	107	162	88	99	146	95	7,546
2020年比	2.06	2.58	2.33	2.62	2.64	2.15	2.55	2.72	2.42	2.97	1.91	1.83	2.20	2.28	2.16	2.43
順位	40	16	30	15	12	38	19	7	28	4	45	46	36	32	37	0

2024年末までの集計
リリース時期不明・配信停止のアプリを除く

カテゴリ別累計配信件数の推移

- ✓ 広報分野のアプリが、常に最も多いカテゴリであったが、2020年以降子育て分野と防災分野が急激な増加を見せており、2024年には防災分野が最も多いカテゴリとなった。
- ✓ 子育てアプリの増加は、母子手帳の電子化や、コロナ禍における子育て支援サービスのオンライン化需要の高まりが背景にあると考えられる。
- ✓ 防災アプリの増加は、自然災害の増加と住民の防災意識の高まりが背景にあると考えられる。



2024年末までの集計
リリース時期不明・配信停止のアプリを除く

まとめ

- ✓ 自治体アプリの配信は増加し続けていおり、全国の市区町村の95%がアプリを配信している。
- ✓ 自治体アプリの新規配信件数は、2020年から2024年の5年間で3.31倍、また累計配信件数は、同期間で2.25倍に増加した。
- ✓ 過去5年間の累計アプリ配信数は47都道府県の91.5%にあたる43都道府県で2倍以上に増加している。
- ✓ 自治体アプリ配信数増加の背景には、総務省を中心にDXを推進していることが影響していると考えられる。
- ✓ カテゴリ別配信総件数においては、広報が最も多かった期間が続いていたが、ここ数年で子育て分野と防災分野の配信が急増している。